

# 2023年 第1回東工大本番レベル模試 英語

## 解答・採点基準

全2問 90分 150点満点

### I (90点)

#### 解答

---

I-1

重要なのは、脳の大きさと言うよりは、むしろその動物が持っているものでできることである。

I-2

複雑な行動にはある程度以上の大きさの脳が必要だが、クモは小さすぎてそのような脳を持たないだろう。

(48字)

I-3

クモと同様に、乳幼児は何を考えているか話すことができないので、彼らが何に驚くか調べることで、彼らが理解することを推定するという発想である。

I-4

Although spiders can't literally count one, two, three, the research suggests some jumping spiders have a sense of numbers roughly equivalent to that of 1-year-old humans.

I-5

(ア) B            (イ) E            (ウ) A            (エ) C            (オ) D

I-6

① C            ② C

I -7

2, 4, 7(順不同)

## 採点基準

### I-1 10点満点

It's not so much the size of the brain that matters, but what the animal can do with what it's got

重要なのは、脳の大きさと言うよりは、むしろその動物が持っているものでできることである。

\* 具体的にどのような表現が許容される(あるいはされない)については解説を参照。

1. It's ~ that matters の部分が「**重要なのは～で**」のように強調構文であることが分かる形に訳されていれば **3点加点**。
  - 「～は(が)重要で」のように、強調構文を反映できていない場合は**加点しない**。
2. not so much the size of the brain …… but の部分を、「**脳の大きさと言うよりは、むしろ……である**」のように訳出できていれば **3点加点**。
  - not so much B but A「Bと言うよりはむしろ A」の構造を理解していないと考えられる訳出になっている場合は**加点しない**。
3. what the animal can do の部分を「**その動物ができること**」のように訳出できていれば **2点加点**。
4. with what it's got を「**持っているもので**」と訳出できていれば **2点加点**。
  - この what を疑問詞として訳出している場合は **1点減点**。

### I-2 10点満点

「複雑な行動にはある程度以上の大きさの脳が必要だが、クモは小さすぎてそのような脳を持たないだろう。」(48語)

\* 具体的にどのような表現が許容される(あるいはされない)については解説を参照。

1. 「**複雑な行動にはある程度以上の大きさの脳が必要だ**」という内容を適切に表せていれば **4点加点**。
  - 「**ある程度以上の**」に相当する表現がない場合は **1点減点**。
2. 「**クモは小さすぎてそのような脳を持たないだろう**」という内容を適切に表せていれば **4点加点**。
3. 1と2が**逆接を表す接続詞**でつながれていれば **2点加点**。

### I-3 10点満点

Since infants, like spiders, can't tell you what's on their mind, the idea is to deduce what they understand by seeing what surprises them.

クモと同様に、乳幼児は何を考えているか話すことができないので、彼らが何に驚くか調べることで、彼

らが理解することを推定するという発想である。

\* 具体的にどのような表現が許容される(あるいはされない)かについては解説を参照。

1. Since infants …… can't tell you what's on their mind の部分が「乳幼児は何を考えているか話すことができないので」のように訳されていれば 3 点加点。
  - what's on their mind を「何を考えているか」という内容に訳せていない場合は 1 点減点。
2. like spiders を「クモと同様に」のように訳出できていれば 1 点加点。
3. the idea is to deduce what they understand の部分を「彼らが理解することを推定するという発想である」のように訳出できていれば 3 点加点。
4. by seeing what surprises them を「彼らが何に驚くか調べることで」と訳出できていれば 3 点加点。

#### I-4 10 点満点

クモは文字通り 1, 2, 3 と数えることはできないが、その研究は一部のハエトリグモは、大雑把に言って人間の 1 歳児と同等の数字に対する感覚を持つことを示唆している。

Although spiders can't literally count one, two, three, the research suggests some jumping spiders have a sense of numbers roughly equivalent to that of 1-year-old humans.

\* 具体的にどのような表現が許容される(あるいはされない)かについては解説を参照。

1. 「クモは文字通り 1, 2, 3 と数えることはできないが」という内容が *Although spiders can't literally count one, two, three* のように訳されていれば 3 点加点。
  - この場合の「が」を逆接の接続詞として訳せていない場合は 1 点減点。
  - 和文における「1, 2, 3」を英文に表記する際は 1-2-3 や one, two, three など、1 から 3 までの連続した数を表せていればよしとする。
2. 「その研究は……を示唆している」を *the research suggests* のように訳出できていれば 2 点加点。
3. 「一部のハエトリグモは、大雑把に言って人間の 1 歳児と同等の数字に対する感覚を持つこと」の部分を *some jumping spiders have a sense of numbers roughly equivalent to that of 1-year-old humans* のように訳出できていれば 5 点加点。
  - 「1 歳の」を表す形容詞を用いた表現で、*1-year-old* とハイフンを使って表せていない場合は 1 点減点。

I-5 各5点 計25点

I-6 各5点 計10点

I-7 各5点 計15点

## II (60 点)

### 解答

---

II-1

It's hard for us to work out exactly how long prehistoric humans lived, not least because prehistory is defined as the period prior to written records.

II-2

先史時代, 小児の死亡率の高さゆえに平均寿命が極めて短かった一方で, 中年や老年を迎える者も存在し得たということ。

(55 字)

II-3

感染症やけが, 不運といった予測できない危機を免れた人々は, 現在ならば我々が老化と認識するであろう説明のつかない衰態に見舞われた

II-4

哲学の流派や宗教, 帝国が盛衰する間にも, 寿命については何千年にも渡って驚くほどわずかしか変化しなかった。

II-5

① C                      ② D

II-6

2, 8 (順不同)

## 採点基準

### II-1 10点満点

先史時代の人類がどれほど長く生きたか正確に算出することは我々には難しいが、これはとりわけ先史時代が文字による記録に先立つ時代と定義されているからである。

It's hard for us to work out exactly how long prehistoric humans lived, not least because prehistory is defined as the period prior to written records.

\* 具体的にどのような表現が許容される(あるいはされない)かについては解説を参照。

1. 「～することは我々には難しい」を **It is hard for us to ~**などの表現を用いて訳せていれば、**2点加点**。
2. 「正確に算出すること」を **to work out exactly** のように訳せていれば、**2点加点**。
  - 「算出する」の訳語として、estimate や evaluate など「見積もる」の意味を持つ語を用いた場合、**加点は1点に留める**。
3. 「先史時代の人類がどれほど長く生きたか」を **how long prehistoric humans lived** のように訳せていれば、**2点加点**。
4. 「が、これはとりわけ～からである」を **not least [particularly] because** のように訳せていれば、**1点加点**。
  - 「が」を逆説の接続助詞と解釈し、but などと表現している場合は**加点しない**。
5. 「先史時代が～と定義されている」を **prehistory is defined as** のように訳せていれば、**1点加点**。
6. 「文字による記録に先立つ時代」を **the period prior to written records** のように訳せていれば、**2点加点**。
  - 「文字」の訳語に letter など広く記号を表さない語を用いた場合、**加点を1点に留める**。

### II-2 10点満点

「先史時代、小児の死亡率の高さゆえに平均寿命が極めて短かった一方で、中年や老年を迎える者も存在し得たということ。」(55字)

具体的にどのような表現が許容される(あるいはされない)かについては解説を参照。

1. 「**先史時代の平均寿命**」のように、it の指す具体的な内容が示されていれば **2点加点**。
2. 「**平均寿命が極めて短かった**」のように、(it's) worse than you might expect の具体例として平均寿命の短さに言及があれば **2点加点**。
  - 「(30歳から)35歳」などのように具体的な数を用いた解答も認める。
3. 「**小児の死亡率が高い**」のように、平均寿命を引き下げた要因として若年期の死亡率の高さが示されていれば **3点加点**。

- 「15歳まで生きられる確率が60%程度だった」など具体的な数を用いた解答も認める。
4. 「中年や老年を迎える者も存在し得た」のように, (it's) better [...] than you might expect の具体例として長く生きる先史時代の人類がいたことが示されていれば **3点加点**。
- 具体的な年齢を示してもよいが, 「60代や70代」の両方に言及していない場合は **2点減点**。同様に, 中年を迎える者のみに言及し, 老年を迎える者が存在した可能性に言及しない場合は **2点減点**。

### II-3 10点満点

Those who escaped the capricious crises of infectious disease, injury or bad luck were greeted by an inexplicable state of decline which we'd now recognise as ageing

感染症やけが, 不運といった予測できない危機を免れた人々は, 現在ならば我々が老化と認識するであろう説明のつかない衰態に見舞われた

\* 具体的にどのような表現が許容される(あるいはされない)かについては解説を参照。

1. Those who escaped ~を「~を免れた人々」などと訳せていれば **2点加点**。
2. the capricious crises of infectious disease, injury or bad luck を「感染症やけが, 不運といった予測できない危機」などと訳せていれば **2点加点**。
  - capricious を「気まぐれな」などと, 通常人を形容する語で訳した場合, **1点減点**。
3. were greeted by inexplicable state of decline を「説明のつかない衰態に見舞われた」と訳せていれば **3点加点**。
  - 「(衰態)を迎えた」のように, 受動態の構造を崩して訳した解答には **1点減点**。
4. which we'd now recognise as ageing を「現在ならば我々はこれを老化であると認識する」などと訳せていれば **3点加点**。
  - we'd の部分を, 仮定法あるいは婉曲の意味合いを残して訳していない場合, **1点減点**。

### II-4 10点満点

Even as schools of philosophy, religions and empires rose and fell, surprisingly little changed about lifespans for thousands of years.

哲学の流派や宗教, 帝国が盛衰する間にも, 寿命については何千年にも渡って驚くほどわずかしか変化しなかった。

\* 具体的にどのような表現が許容される(あるいはされない)かについては解説を参照。

1. Even as ~を「~する間に(さえ)も」などと, as の同時性が even により強調されていることを反映して訳せていれば, **2点加点**。

- 「～にもかかわらず」などと訳したのも認める。
2. schools of philosophy, religions and empires rose and fell を「**哲学の流派や宗教, 帝国が盛衰する**」などと訳せていれば, **3 点加点**。
    - 「哲学や宗教, 帝国の流派」のように, schools of が掛かる範囲を誤解して訳出している場合は **1 点減点**。
  3. surprisingly little changed を「**驚くほどわずかしか変化しなかった**」などと訳せていれば, **3 点加点**。
    - surprisingly を「驚くべきことに」と訳した場合, **1 点減点**。
  4. about lifespans を「**寿命について**」などと訳せていれば, **1 点加点**。
  5. for thousands of years を「**何千年にも渡って**」などと訳せていれば, **1 点加点**。

II-5 各 5 点 計 10 点

II-6 各 5 点 計 10 点